

うだのみくまり

通巻第53号

《新春輯》

〈発行者〉

宇太水分神社

神徳宣揚奉讃講



丹色輝く修繕を終えた二ノ鳥居

斎行立札を新たにしての例大祭

この原稿に向かつていた十一月上旬は、急な冷え込みもありましたが、連日、夫々のスタイルでお詣りされる方が少なからずおられました。授与所に寄られ、朱印を受けられるなどされる方も、然りであります。これも偏に好天に恵まれた穏やかな日とだからこそ、感謝致します。

昨年の元日、全国の神社では、そんな初詣の光景が当然の如く展開される筈でした。正月は安泰である...という、一種の正常性バイアスが掛かっていった夕刻、能登半島を激震が襲いました。それから本日で一年を迎えます。先ずはお亡くなりになられた方々に、謹んで哀悼の誠を捧げると共に、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

数々の神社の石鳥居や石燈籠が容易く崩れ落ちるテレビの映像に、ショックを受けました。少し経つても、発災時そのままにみえる風景の中で、敢えてキリコ祭りを行われた被災者の真心からの姿勢に、祭りの心の原点に気付かされた思いが致します。

当社では、例大祭を約一か月後に控える頃、それを告げる立札を設置しております。

頌 春

令和七年 元旦

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 本年も全国水道事業の発展とこの事業に携わるみなさまが健やかにご活躍されますことを祈念いたしております。

宇太水分神社

宮司 三家 一彦
氏子 総代 一同

一昨年までは昭和三十四年の伊勢湾台風で神輿渡御が中絶する前のものを使っていた。昨年、傷みが目立ってきたことから芳しい檜材を用い、揮毫を元顧問の森本泰央様に願い、新調致しました。当日、惣社側の芳野太鼓台に導かれて、参道を進み社頭に掲げられた新しい立札を目にすると、神輿行列を先導してまいった私は、これまでに清々しい心境となりました。

姫神様をお迎えして、中央御殿に郷中御幣を立て並べ著御の儀を斎行し畢えて直会の後、六基の太鼓台の宮出をお見送り致しました。熱狂の空間で、各太鼓台の担ぎ手の表情を伺うと、頗る高揚の中に真剣な眼差しを感じ取ることができました。一昨年はコロナ禍を経ての久々の運行でしたが、それを凌ぐ人々の血潮が境内に満ちておりました。

将来、消滅の可能性を宣告された、社会的難題を抱える宇陀市であります。満足のいく造営事業の遂行が今回限り...と、覚悟されている地区も、現れてきている実態です。昨年の太鼓台の担ぎ手の熱情的な貌から、新しい立札に込められた氏子の想いは、そのような悲しい未来を拒む決意と思えてきました。

二ノ鳥居廻る

当社の郷社で大宇陀小和田に鎮座す

る岡田小秦命神社は、一説では渡来系の由緒があるため、神社にある筈の物の中でも象徴的な鳥居が無い。祭神は天照大神・須佐之男命・品陀別命といった、全国的に普遍な神々を祀るので、不思議でもある。しかし、その景観は違和感を抱かせないので、由緒の持つ力だろう。因みに、地図アプリを見ると、その位置に鳥居の凡例がちゃんとある。先ずは、そんなある意味で珍しいお宮があることを、お伝えしたい。

我々日本人は、通りすがりで其処にあると知らずとも、こんもりと繁った森や海岸の奇岩の存在に気づき、目をやると鳥居があると、その先に神社があることが判るのである。

勿論、神社の中で最も重要な構造物は本殿である。当社のように境内のどの位置から見え、寧ろ参詣者の瑞垣内拝観を受付けているオープンな社頭もある。しかし大勢は神聖を穢すことを忌避し、一般参詣者が御殿を近くで拝することは、特別な機会が訪れない限り叶わない。殊に伊勢の神宮にあつては、その唯一神明造の御正宮の辺りの清掃も、上臈の神職にしか許されていない。

鳥居は反対に、其処から進んで行く、その奥に聖域があることを示すための目印であり、外部との境界の役割を持つ結界の一種でもある。従って社

名を示されて、本殿などの建築物が瞬時に脳裏に浮かばなくても、鳥居は直ぐに思い出せることがよくあるのではないだろうか。

例えば広島・安芸の宮島の厳島神社の両部鳥居である。瀬戸内海に浮かぶ如く、鮮やかな丹塗りの威容で誇らしげに、樟の自然木を用い立ち、檜皮葺の屋根を広げている姿は、あまりにも印象的である。平安時代に栄華を恣にした平家を偲ぶに相応しい。同社を含め、日本三大木造鳥居と呼称されるものが、あと二つある。

一つは私どもの奈良にある春日大社一ノ鳥居である。おん祭りといった大祭には、大きな櫓が立てられることで有名で、どしりとした佇まいと風格がある。そしてもう一つは、福井の気比神社にある両部鳥居だ。昨年七月、奈良県神社庁主催の同神宮を正式参拝する一泊旅行があり、私も参加した。宮司様のご説明を伺いながら拝見したが、見事な意匠に感銘を受けた。

さて、その旅行の少し前の六月二十二日、当社では二ノ鳥居の大修繕工事を行うことになり、それに先立って起工安全祈願祭を斎行申し上げていた。前号でふれたように一ノ大鳥居は、室町時代の大洪水で流失したが昭和五十九年、鋼鉄製にて場所を移動させたうえで再建した。以来それは昨年四十年を迎えたが、二ノ鳥居に関しては、そんな来歴などは詳らかでない。ただ二十年ほど前の前回修繕の際、棟の瓦に大正の歳が刻まれていることが確認されたのみである。そのことから少なくとも、百年以上の歳月をこの様式で、

参詣者を迎えてきたと、推測されると思っている。

立地している場所は、境内の中でも水はけの悪い所で、腐食の進行が早くまたシロアリではないが蟻に蝕まれていた。このままでは見た目に快いものでないだけでなく、倒壊のリスクもあることから、憂慮していた。ここ数年来、折ある毎に役員方は方策を検討されていたが、一昨年の賽銭箱の新調と同様に、急速に大修繕を実施するプランが纏まったのである。

その工事に当たっては、今回も氏子総代の森本様が社長をされている森庄銘木産業株式会社が檜の良材を提供頂き、郷総代の横谷様が営まれている横谷工務店に大工事を願った。また塗装工事は同じ松井天神社の氏子の植田様が経営されているK&H塗装株式会社に依頼した。

工期は梅雨の季節にあたっていたが、幸い晴れ間が多く順調に捗った。とりわけ工程の多くを占めた塗装工事について、従事された業者様の真摯なご対応のお陰もあり、極めて迅速に進み一か月足らずで完工した。よって、摂社春日神社の例祭は、鮮やかな丹色に甦った二ノ鳥居の下で斎行申し上げることができた。

何かにつけて高騰している昨今にあつて、修繕事業の実施を決断してくださった総代方に、感謝致したい。

新調された部材と共に、丹念な塗装によつて色彩の明度が強くなったことにより、芳野川対岸の菟田野中学校のグラウンド角の道路からも、その存在が直截に感じられるようになった。

鳥居の役割を先にふれたが、その結界の力が修繕によつて、増したことになるわけで、即ち水分大神様の神威が大きくなったともいえよう。これも偏に氏子の当社に寄せる思いのお陰であり、厚く御礼申し上げると共に、その美しさが永く保たれることを願いたい。

お伊勢詣りも一月二十六日

前号でふれたように、奈良県神社庁主催の神宮団体初詣は、私どもの関係する本社及び四社の郷社から、計二十六名様が参加くださった。昭和の頃より実施されている事業であるが、最も大勢の参加となり、当社関係だけで、観光バス一台を占めることが初めて叶った。各支部をブロックにした日程の最終が宇陀支部単独催行であったが、折しも寒波襲来の中でも当日は、比較的凌ぎやすい日となった。参加費のうち昼食代は神社社会計から支出し、また車中を楽しんでもらおうと、ビールと菓子類をサービスしての参宮となった。旅行業者の現今の事情により、添乗員が付かず、その役割を神職が担わなくてはならなかったが、却って勉強の機会となった。勢乃国屋での昼食は、冷えた身体をお神酒で温め、参加された皆様は和んでおられ、好評のうちに歸路に就いた。本年も多くの氏子が参加されている伊勢路にできればと願っている。



目

誌

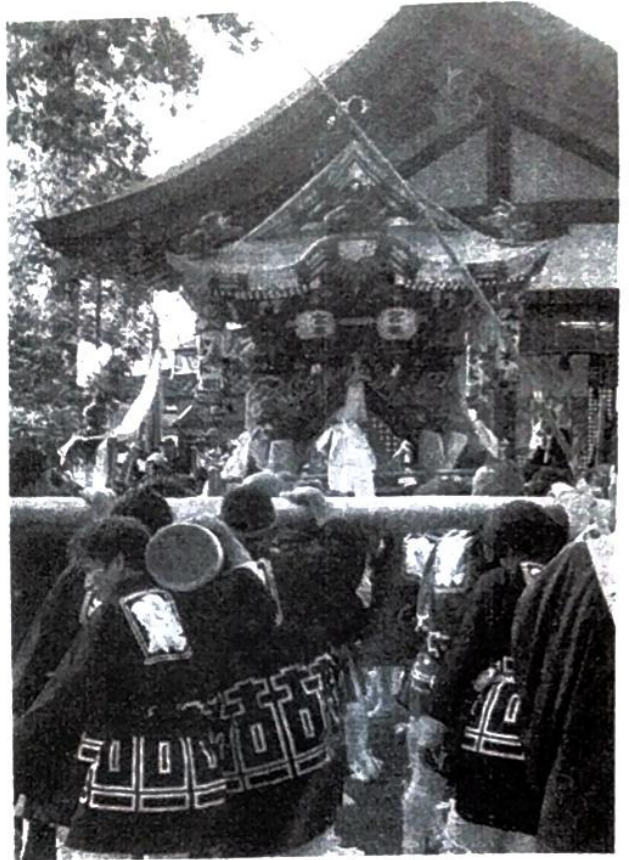
抄

自 令和五年十二月一日
至 令和六年十一月三十日
〇 令和五年
十二月 一日 月次祭

志を新たに齎行



二ノ鳥居の工事風景



宮本太鼓台の宮出

七日 全国国宝重要文化財
所有者連盟総会に禰
宜出席(東京)
十二日 津市上下水道参拝祈
禱(五名)
二十四日 迎春準備(門松立・
夫婦杉注連縄掛け等)
三十一日 師走の大祓式

〇 令和六年		〇 令和五年	
一月	一日 歳旦祭 五日 紀の川市上下水道部 ・管工事業協同組合 参拝祈禱(四名) 十三日 宇陀ライオンズクラ ブ正式参拝祈禱(十 八名) 二十六日 奈良県神社庁主催神 宮団体参拝に禰宜・ 役員参加(計二十七 名) 二十八日 新年総会 八百津町役場水道環 境課参拝祈禱(二名) 二月 一日 山口県企業局他参拝 祈禱四名 七日 末社恵比須神社例祭 (初えびす) 三月 二十五日 祈年祭 一日 月次祭 二十六日 伊賀市上下水道協同 組合参拝祈禱(十名) 四月 一日 月次祭 九日 春の大三輪祭に禰宜 参列(桜井市・大神 神社) 十日 末社金刀比羅神社春 季例祭 二十一日 奉賛講 講員安全祈 願祭 五月 一日 月次祭 十五日 津市上下水道協同組 合参拝祈禱(五名) 松阪市指定上下水道	六月 一日 事業協同組合参拝祈 禱(四名) 四日、五日 全国清々会総会及び 見学会に禰宜出席 (京都市) 九日 夏越の大祓に向け茅 の輪立作業その後役 員会 十五日 伊勢市上下水道部参 拝祈禱(七名) 十七日 三枝祭に禰宜郷社神 御子美牟須比命神社 役員と共に参列 (奈良市・率川神社) 東員町上下水道課参 拝祈禱(二名) 二十一日 二ノ鳥居修繕工事起 工祭 三十日 夏越しの大祓式 月次祭 七月 二日、三日 奈良県神社庁主催研 修旅行に禰宜参加 (福井県・氣比神宮 ／石川県) 七日 惣社水分神社への例 大祭に向けた挨拶 撰社春日神社例祭 八月 二十一日 月次祭 六日 全国春日連合会奈良 県支部総会に教化委 員出席(奈良市・八 幡神社) 十六日 古市場納涼夏まつり (大盆踊り) 九月 一日 月次祭	六月 一日 事業協同組合参拝祈 禱(四名) 四日、五日 全国清々会総会及び 見学会に禰宜出席 (京都市) 九日 夏越の大祓に向け茅 の輪立作業その後役 員会 十五日 伊勢市上下水道部参 拝祈禱(七名) 十七日 三枝祭に禰宜郷社神 御子美牟須比命神社 役員と共に参列 (奈良市・率川神社) 東員町上下水道課参 拝祈禱(二名) 二十一日 二ノ鳥居修繕工事起 工祭 三十日 夏越しの大祓式 月次祭 七月 二日、三日 奈良県神社庁主催研 修旅行に禰宜参加 (福井県・氣比神宮 ／石川県) 七日 惣社水分神社への例 大祭に向けた挨拶 撰社春日神社例祭 八月 二十一日 月次祭 六日 全国春日連合会奈良 県支部総会に教化委 員出席(奈良市・八 幡神社) 十六日 古市場納涼夏まつり (大盆踊り) 九月 一日 月次祭

八月	全国春日連合会総会 に禰宜・教化委員出 席(奈良市)
十日	末社金刀比羅神社秋 季例祭
二十三日	例祭打合せ会議
一日	月次祭
二日	東京都・興真乳業株 式会社会長夫妻参拝 祈禱
四日	奈良県神社庁神宮大 麻頒布始祭に禰宜出 席(橿原神宮)
十六日	宇陀支部神宮大麻頒 布始祭を当社に於い て斎行 禰宜齋主奉 仕
十七日	坂祝町水道環境課参 拝祈禱(三名)
十九日	郷社例祭及び祭典準 備
二十日	例大祭(神輿渡御祭)
一日	月次祭
三日	郷社菟田野岩崎八坂 神社創建百五十年奉 祝祭
七日	奈良県神社関係者大 会に禰宜・責任役員 出席(橿原神宮)
二十二日	山口県企業局及び周 南地区工水利用者協 同組合参拝祈禱(四 名)
二十三日	新嘗祭

謹告

元旦一時御神水(若水)を奉献し、氏子総代参列の下に厳かに歳旦祭を執り行い、氏子一同と全国水道事業関係者の無事平穏と事業の発展と安全を祈願いたしました。

吉例の如くお祓いをした御神札は菟田野郵便局開門と同時に発送の手続をいたしました。

「うつくしい水の守り神」宇太水分神社の御神札を事業所の清らかな高いところにお祀りし、日々事業の安全と豊水を祈りいたしましょう。

御神札を年ごとに新しくお改めするのは、神は清浄を第一とすること、また若返えられた神の強いみ光を仰いで一層のご加護を願うという、祖先より受け継がれてきた伝統的信仰にもとづくものです。

一年間お守りいただいた古い御神札は感謝の心をこめて当社へお納め下さい。又は最寄りの神社へ納められても結構です。

おねがい

正式参拝祈禱ご希望の方は、その日時を電話等で一報下さる様おねがいたします。神職が不在の時もあり、ご迷惑をおかけすることになります。是非ともよろしくおねがいたします。

TEL〇七四五―八四―二六一三

編輯後記

昨年、いつの間にか趣味の一つに加わったものに、ランニングがある。二月初戎の頃に、単に寒さを紛らわすために思い付きで始めた。面白くなつてきて、少し距離を伸ばした刹那、膝を激しく痛め、凡そ三週に亘り歩くことも辛いこともあった。なぜかそれにも挫けず続けるも、走れる身体づくりに三か月程を費やした。初めはごく近所を廻る程度だったが、今では周辺の郷社地区を廻つて来る、距離にして五キロ程になるうか。自転車とも違い、靴底から直接季節の移ろいやその日の天候が五感に伝わり、その速度から、目に映る風景も細やかに刻まれる感覚を発見した。その中でも農事、とりわけ日々変化する稲の生育を観察することとは、愉しいことであつた。令和の米騒動…とか云われたが、結局凶作に見舞われることもなく、価格は高騰するも順調に店頭に並ぶようになっていた。然し夏の猛暑はランニングするにも覚悟を要した。稲について、その影響は収穫後も続き、株から生え出た二番穂に実まで入っていると聞く。地球温暖化は差し迫っている。明日第百一回の号砲が鳴る箱根駅伝…その予選会が高温で選手達を苦しめたいらしい。今年も学生ランナーの走りに刺激を受けて、ランニングに励みたく思う。

禰宜 三家邦彦

◇神徳宣揚奉讃講ご加入のご案内◇

例年多数のご加入をいただき厚く御礼申し上げます。
当神社では月次祭に水道事業の安全操業と豊水を祈願いたしております。

◎年間講費 1口 2千円以上随意

ご送金は振替用紙ご利用又は銀行振込み(南都銀行 菟田野支店
店番290 普通口座031732 宇太水分神社神徳宣揚奉讃講)
にておねがいたします。